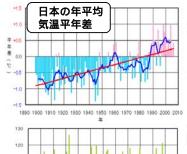
#### 地球温暖化対応産地構造改革モデル実証事業 (H20~22年度)

## 進む地球温暖化!



日本の年平均 降水量平年比

宮崎では、

30年前と

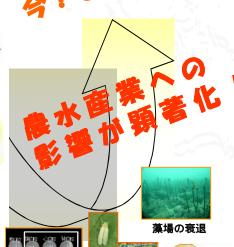
平均気温1.1 最低気温2.5

#### 集中豪雨の発生!

20mm以上/1時間 の雨量頻度が増加

海水温の上昇!







米の白未熟粒 の発生

野菜の病害虫 の多発

家畜への 暑熱ストレス

長期的には・

温暖化試験研究の加速化

農水産業温暖化研究センター

農水産業の影響把握 温暖化情報の収集分析 影響緩和対策研究の促進 産学官連携技術の開発 アドバイザー会議の開催

産学の 知見·技術 を活用

工業

温

暖

化

に対

応

た 新

たな生産

|構造の

改革

応

地

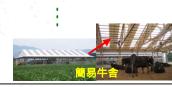
改

宮崎か 温暖化研究

短期的には・・・

### 温暖化対応経営の実証

課題解決のための展示ほ 簡易牛舎の整備 浮沈式養殖生け簀施設の導入





農水産業

の実践

地球に やさし 農水産業



#### 温暖化抑制技術の推進

ハイブリットシステム・木質ペレッ ト暖房機等の導入実証 バイオディーゼル燃料サイク ルの構築

家畜排せつ物の調整施設整備



## 地球温暖化対応産地構造改革モデル実証事業

# 推進体制

#### 宮崎県農水産業 アドバイザー会議 温暖化研究センター 政策課題への反映 ・総合農試に事務局設置。 学識経験者、気象予報士、 ・センター長は、総合農試場長。 大学、産学官コーディネ イター等 試験研究課題への反映 県の農林水産関係機関 (行政、試験研究)で構成。 他産業との 調査・分析プロジェクト イネ マッツ 温暖化予測と影響想定調査 具体的な 調査結果を活用 チ ●農水産業における現地調査 支援策 【例】・宮崎版の温暖化予測図 ・作物、作型、技術の予測 ■温暖化情報の収集・分析 温暖化対応 温暖化 経営の実証 情報の 技術開発プロジェクト 集積・分析 公募により新たな ●影響緩和対策研究の公募 スピード感 視点からの研究を促進 温暖化抑制 のある 【例】・新品種、栽培法の開発 技術開発 技術の推進 ・省力化機械の開発 產学官連携技術開発 ●産学官連携技術の開発実証 プロジェクトの設置 【例】・脱石油型暖房機開発プロ(木質・畜糞ペレット) ・エネルギー作物研究プロ(ナタネ、ヒマワリ等)